



刊四月二日夕刊

福島縣石城郡平町長橋町三五番地

電話六三〇番

印刷所

常磐每日印刷所

電話六三〇番

本社ト同番地

常磐每日印刷所

電話六三〇番

印刷人

川崎文治

本社ト同番地

郡下町村議戰迫り

飛躍する無産各黨

平署極度に緊張して

八方取締に奔走

町會選舉の入場券は

編成し 大衆を獲得

せんとしメーデーの至るを

待つて各種の計畫を進めて

るが此れを探知した平署

ではメーデー警戒のため此

れまた秘密裡に活動を開始するに至り常磐地方に於ける無産運動は逐日熾烈となる

坑夫慘死

昨日二井坑で

◇ ◇

常磐地方に於ける社會民衆活動は愈々猛烈となり、殊に社民黨の如きは過直ちに大衆舊勞農黨の勢力を驅逐すべく各方面に亘つて挑戦し猛鬭を續け今や内郷村の磐城炭礦を中心に約七百名の黨員を獲得するに至つたと傳へられてゐるが、社民黨は更に今次町村議戰に、は唯一の地盤たる内郷村は勿論平町、好間村、湯本町、磐崎村等において多數新議員を送るべくあらゆる方策を以て一路是れに向つて活動を續けてゐるが、社民黨の此の大飛躍に刺激された大衆舊勞農の二黨も此れまた社民黨の切崩しに努め飽まで現勢以上に勢力を伸張して同じく獲得せんと必死の活動を開始するに至り選舉期日の切迫に従ひ常磐地方における無産各黨の勢力擴張の黨員獲得運動は猛烈化するに至つたが此等新興無產各派の飛躍を知つた平署

活動は愈々猛烈となり、殊に社民黨の如きは過直ちに大衆舊勞農黨の勢力を驅逐すべく各方面に亘つて挑戦し猛鬭を續け今や内郷村の磐城炭礦を中心に約七百名の黨員を獲得するに至つたと傳へられてゐるが、社民黨は更に今次町村議戰に、は唯一の地盤たる内郷村は勿論平町、好間村、湯本町、磐崎村等において多數新議員を送るべくあらゆる方策を以て一路是れに向つて活動を續けてゐるが、社民黨の此の大飛躍に刺激された大衆舊勞農の二黨も此れまた社民黨の切崩しに努め飽まで現勢以上に勢力を伸張して同じく獲得せんと必死の活動を開始するに至り選舉期日の切迫に従ひ常磐地方における無産各黨の勢力擴張の黨員獲得運動は猛烈化するに至つたが此等新興無產各派の飛躍を知つた平署

實現か?

注目すべき

今後の状勢

別項常磐地方に於ける社民

黨を始め大衆舊勞農黨系の

新興無產黨が町村議戰を目

前に一大飛躍を開始し政民

兩黨に肉迫せんとしてゐる

が前記無產三黨は現在の如

き三巴戰を續けてゐる時は

徒らに

精力を消耗し結局は共倒れの悲運を見るかも

事は殆んど不可能である

との理由から各々も昨今戦計られず現在の運動方針では現勢以上の勢力を獲得す

法を一變するに至つた即ち從來三黨の間に行はれた戦法は等しく他黨の切崩しになつたが

は其倒れの悲運を見るかも

事は殆んど不可能である

との理由から各々も昨今戦

法を一變するに至つた即ち從來三黨の間に行はれた戦

法は等しく他黨の切崩しになつたが

は其倒れの悲運を見るかも

事は殆んど不可能である

と説諭の上で放還された落盤の下敷

から除くことが出来ぬことになつてゐるので町當局ではまだま役場東販の手違はひから投票場入場券を轉居して來たばかりの無資格者

は留守宅に配達したのを

之はまた故意か過失か入場券によつて投票し問題を起

してゐる市町村が全國には

相当あるのに鑑み本年から

六名と確定したが選舉當日までには少くとも十名乃至五百餘名増の三千九百四十

平町における町會議復改選も來月下旬執行されるので

平町役場ではさきに昨年五月月末現在による有權者を調査したがその結果前回より

二十名位の他町村へ移轉に

五十名位の他町村へ移轉に

六名と確定したが選舉當日までには少くとも十名乃至五百餘名増の三千九百四十

平町における町會議復改選も來月下旬執行されるので

平町役場ではさきに昨年五月月末現在による有權者を調査したがその結果前回より

二十名位の他町村へ移轉に

六名と確定したが選舉當日までには少くとも十名乃至五百餘名増の三千九百四十

(二) 日三十二月四年四和昭 (日曜火) 新聞毎日常磐 (三) 可認物便郵種三第 (四) 聞新日每磐常 (號七十七百五千一第)